

# [ 江別市 ] 施策達成度報告書

**政策** 04 安全で快適な都市生活の充実

**施策** 05 上下水道の整備

主管課 水道

## 施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (23年度)	施策の課題 (23年度)
市民ニーズの多様化・複雑化 生活環境改善のナショナルミニマムからシビルミニマムへの変化 環境問題への関心の高まり 循環型社会への転換 普及重視からニーズに対応した施策の展開 施設の建設から維持管理へ	安定給水の確保 より安全で良質な水の確保 大雨にも強い都市づくりを進め、安全な生活を確保する 合流式下水道の改善を進め、環境負荷の軽減を図る 増加する水量に対応するための施設増強を進めるとともに、老朽化した下水道施設の改築・更新を進め、適正な放流水質を確保する

## 施策の目的

水源の確保と水道施設の適切な維持管理による安心で良質な水道水の安定供給を行います。また、下水道施設の適切な維持管理と計画的な雨水管渠整備による衛生的で快適な生活環境の確保と浸水防除を図ります。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、公共水域

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・安心で良質な水道水を安定供給できる。
- ・汚水、雨水の分流化等適正な下水処理を行い衛生的で快適な市民生活が図られる。

## 施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
日常的に水道水を飲み水として利用している市民割合	%	92.3	91.2	-	92.5	→
汚水・雨水等が適正に処理され、衛生的で安全な生活環境が確保されていると思う市民の割合	%	92.4	90.7	-	89.6	→

## 施策の達成状況 (23年度)

安心で良質な水道水の安定的な供給と維持管理能力の向上を図るため、計画的に老朽管の更新を実施している。市民からの苦情件数等の推移等から判断して「汚水・雨水の適正処理による衛生的で安全な生活環境の確保」に関する満足度は高いものと思われる。

施策事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,591,986	1,525,158	1,465,419
事業費(千円)	1,590,777	1,523,955	1,464,204
人件費(千円)	1,209	1,203	1,215

## 01 安全で良質な水道水の安定供給

### 基本事業の目的

水道施設の適切な維持管理と計画的な更新による効率的で安定的な水道水の供給を行います。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、水道施設

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

いつでも安心して飲める水道水を安定供給する。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
幹線管路の事故割合	件/100km	1.4	0	0	1.9	0.0

### 基本事業の達成状況 (23年度)

老朽管の計画的な布設替工事及び道路改良工事に伴う布設替工事を実施しているが、平成23年度については、漏水事故が2件（自然1件、折損1件）発生した。今後も漏水等のトラブルを減少させ、道路改良計画等とも整合を図りながら、老朽管（設備）の布設替・更新を進めていく。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	51,294	32,082	26,831
事業費(千円)	50,488	31,280	26,021
人件費(千円)	806	802	810

## 02 汚水・雨水排除の推進

### 基本事業の目的

下水道（汚水処理）施設の適切な維持管理と計画的な更新による汚水の適正な処理を行います。また、雨水管渠の計画的な整備を行います。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

下水道施設、公共水域

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

水洗化により安全で快適な生活を送れる。  
雨水管渠の敷設により、区域内浸水を防除する。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
水洗化率	%	99.3	99.4	99.4	99.4	99.5
雨水管整備率	%	56.2	56.4	56.5	56.5	56.7

### 基本事業の達成状況 (23年度)

事業認可区域内の汚水管整備はほぼ完了しており、高い水洗化率となっているが、下水道の事業効果を高めるためにも、未水洗世帯（事業所）の解消をさらに強めていく必要がある。  
雨水管整備については、整備率は横ばいの実績となった。今後も整備に当たっては、事業効果の高い補助対象事業の雨水幹線整備を中心に、今後も効果的な路線を厳選しながら整備を進めていく予定である。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,540,692	1,493,076	1,438,588
事業費(千円)	1,540,289	1,492,675	1,438,183
人件費(千円)	403	401	405